



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2011年（平成23年）8月5日号 No. 1536

目次

■ 2011年1～6月の日ロ貿易 —震災にもかかわらず拡大—	1
■ 統計速報	6
2011年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2011年1～6月のロシア地域別の鉱工業生産指数／7	
■ トピックス	8
医療機器大手のニプロがロシアで合弁／8	
ロシア三井住友銀が増資／8	
日ロ間エネルギー協力の強化で一致／8	
京都府がナホトカと経済交流拡大／8	

2011年1～6月の日ロ貿易 —震災にもかかわらず拡大—

はじめに

日本財務省から、2011年上半期（1～6月期）の貿易統計が発表されたことを受け、当会では上半期の日本とロシア間の貿易に関し、輸出入商品構成をまとめたので、早速これを紹介したい。なお、ロシア以外のNIS諸国との輸出入動向も「統計速報」のコーナーに掲載しているので、あわせてご参照いただきたい。

2011年1～6月期の日ロ貿易をドル換算したところ、輸出入合計で141億9,927万ドルとなり、前年同期比40.2%増大した。うち、日本の輸出が53億9,762万ドル（前年同期比61.8%増）、輸入が88億ドル164万ドル（同29.6%増）であった。ただし、円高の関係で、円表示で見ると、伸びはやや小幅となる。

東日本大震災を受け、自動車関連をはじめとして日本の産業の少なからぬ部分が一時的に麻痺したため、ロシア向けの輸出にも影響が及ぶことは避けられないと見られていた。しかし、月別の輸出動向を跡付けると（表1）、4月こそ若干落ち込む場面があったものの、現在のところほぼ前年の水準を上回って推移している。上半期の日本の貿易統計を見る限り、主要20カ国のなかでは、ロシアとの貿易が最も伸びている。ただし、影響はより長期的な性格のものになる可能性もあり、引き続き注視すべきであろう。